

秋田県が提案する農山村振興の新たな進め方(各施策の有機的連携)

■基盤、ひと、しごと、活力を柱とし、段階に応じて各施策を組み合わせ、総合的に地域の活性化を推進

1 基盤

基盤を支える各事業から生まれた資源(時間・人手・景観・コミュニティ等)を地域活性化に活用するよう誘発

2 ひと

地域活動の源となる人材を生み出すとともに、ネットワークの形成により、県全体の活性化へ

3 しごと・活力

地域のしごとづくりや活力づくりに伴走し、部内各課や関係部局とも連携してサポート

